

わたしの 妊娠報告書

記載日 2018年 6月 6日

おめでた宣言日	2017年 12月
年齢 (42) 歳	平成 (12) 年 (7) 月 結婚
私は (顕微授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴
(/) 年 (0) ヶ月
他院での治療歴
<input checked="" type="checkbox"/> なし あり→内容 ()
ASKA での治療歴
一般不妊治療
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 () 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 () 回
生殖補助医療
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回
<input type="checkbox"/> 体外受精 () 回
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 (2) 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

- ・ 脚腰を冷やさない事 (カイロ, レッグウォーマー)
- ・ 葉酸サプリメントを摂取し事

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

高齢(夫52歳、妻41歳)に精子の運動率が良くない事もあり、段階を踏まずに一足飛びで顕微授精に挑戦するという治療方針でした。又、第一子の出産に成功した場合の第二子の妊娠に備え、少しでも若いうちの胚盤胞を備蓄しておこうと、7か月間で続けて4回の「採卵→顕微授精」を繰り返していました。結果、凍結胚盤胞4つと初期胚1つを保存する事が出来ました。その後、胚盤胞移植2回目で妊娠に至りました。

その他(通院・治療費・家族など)

中山先生のユニークで思慮的なお人柄により、我々夫婦は通院を楽しんでおりました。中山先生は治療の説明の中で「巧みに例え話を盛り込まれるが、その例え方が実に面白く解りやすく、我々は毎度毎度そのツボにハマるのでした。。。

治療中の方へのアドバイス

「終電にはまだ間に合います」最初の受診での中山先生のこのお言葉が励みとなり、採卵数が少ない日も、顕微授精の結果が思わしくない時も、希望を持って、常に前向きな気持ちを保つ事が出来ました。

スタッフへのご意見など

中山先生、重富先生はじめ看護師さん、培養士さん、受付スタッフの皆さん AskAでお世話になりました。全ての皆様にご温かくお心の込めた施しを頂き、バカから感謝致します。明日に備えてお休み中の時間があるのかバカにならな程、夜遅くまでお疲れの色も見せられず丁寧に診察、対応して頂きました。プロの鏡として尊敬しながらそのお姿を見つめておりました。